

春を呼ぶ豆まき

立七〇・いじわら子オニは外

春を呼ぶ節分行事が、各保育園、幼稚園、小学校、宮内の世貴山で行われました。参加者は、今年一年の開運をお祈りして、豆をまきました。

中央保育園・幼稚園では2月2日に行われ、園児たちは、手作りのお面をかぶり幼稚園と保育園に別れ、「泣き虫オニは外、いじめっこオニは外」と勢よく豆をまきました。

教室にもどり年数だけ豆を分けてもらい「おいしいね」と食べていました。

宮内の世貴山では、3日に2月3日町民会館で、ひかり福祉のつどいが開催され、福祉関係者247人が出席しました。

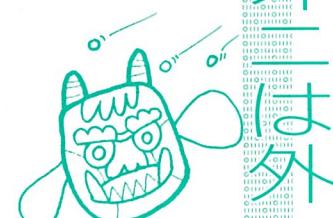
式では、社会福祉協議会森会長から「よりよい町づくりに協力願いたい」とあいさつがあり、社会福祉功労者の表彰彰、福祉のまちづくり標語、作文・ポスター入選者の表彰に続いて福祉のまちづくり体験発表では、南条小6年齊藤千恵さんが「あいさつ」と題して、またクリーン友の会の木内こうさんからも発表がありました。来賓者のあいさつでは、受賞者に町長から「長い間福祉の活動に尽力いただ



体验発表の
お二人

行われ、護摩祈願の後、来賓ほか近隣から応募した年男・年女50人が「福は内、福は内」に行われました。

と勢よく豆をまきました。年々人出もふえ春の行事も盛大に行われました。



福祉功労者を表彰

ひかり
福祉のつどい

いた方に、ひとつ励みとして、更に活躍してください」と、その後、つどい宣言が採択され、「これからも頑張って行きましょう」と一同が決意を新たにしました。最後に、古典落語鑑賞が行われ、会場内は笑いの渦で一杯でした。また、1泊2日のホテル宿泊券等が当たる抽選会が行われ、更に盛り上がりを見せました。



町学校訪問



お面をかぶっての豆まき
中央保育園・幼稚園

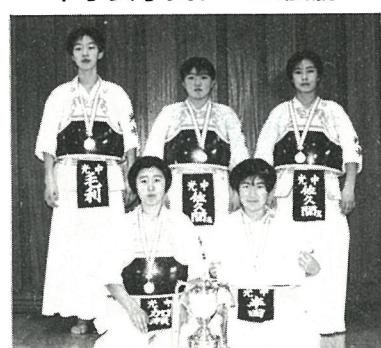
恒例となつた町長の学校訪問が、2月7日から5日間にわたり行われました。

短時間ながら各校全クラスの授業を参観し、なかでも中学生のパソコンの習熟度には驚いていました。

教職員との意見交換では、先生方も熱心に聞き入っていました。

また、先生方からは国際化に向けた町のPR方法や、図書(読書本)の整備による効果など幅広い話題の意見交換が行われ、今後の学校教育の充実に役立つ懇談会となりました。

第21回 町青少年剣道大会 中学女子Aチーム優勝



540人が技を競う